名古屋市会
平成30年９月定例会の概要②（速報版）

■発行：名古屋市会
編集委員会
■電話番号：972-2094

平成 29 年度決算認定案の審査から　～審査の概要～

平成29年度名古屋市一般会計歳入歳出決算はじめ各会計決算認定案19件について、6常任委員会で審査された主な内容と項目は次のとおりです。

総務環境委員会

【質問】**特定の局に超過勤務時間が集中していることや精神疾患による休職者が多い状況を踏まえた職員配置に対する考え方は。**

【答弁】超過勤務時間を抑制するために、これまでも定員管理において全庁的に重要度の高い事務事業を中心に職員を配置し、必要な場合は組織上の整備なども行ってきたが、特定の局で超過勤務時間が多い実態もあることから、**局内だけでなく、全庁的な定員配置を含めて協議していきたい**と考えている。精神疾患による休職者に対しては、休職中の相談対応や、本人、職場、主治医及び産業医の意見を踏まえた職場復帰後支援計画の作成により、円滑に復職できるような支援を行っており、**特定の職務及び職場への復帰が難しいという希望があった場合には、全体的な配置の中でできるだけ職員の資質や経験に適した職場に配置されるよう調整**をしている。

＜その他の審査項目＞
- ○行財政改革の取り組み
- ○収集関係職員の年齢構成是正のための対策
- ○資源分別率の推移を踏まえた資源の分別収集方法の検討状況　など

財政福祉委員会

【質問】**がん検診の受診者数及び受診率の推移と受診率の目標達成に向けた取り組みは。**

【答弁】がん検診の受診率について、特に胃がん検診では平成 28 年度から実施が始まった内視鏡検査の影響もあり、**前年度比で、2.9%の伸びとなっている**など、全体としてがん検診の受診状況は伸びてきたと考えているが、平成 34 年度にがん検診の受診率 50%、子宮がん検診については 65%という高い目標に向けては、まだまださらなる工夫が必要であると考えている。また、**がん検診の無料クーポン券を特定の年齢の方を対象に配付している**が、無料クーポン券を利用せず、職場の健康診断であわせてがん検診を受診する方もいるため、無料クーポン券ががん検診受診率向上にどの程度寄与しているかを正確に把握することはできていないものの、がん検診の継続的な受診のきっかけになると考えており、受診勧奨の一つの方法として、この取り組みを継続して行っていきたいと考えている。

＜その他の審査項目＞
- ○市が保有する資産（土地・建物など）量の適正化に向けた取り組み状況及びその進捗に対する認識
- ○公共建築物や鉄道駅などのバリアフリー化に向けた取り組み状況及び本市の対応
- ○名古屋市立病院改革プラン 2017 に定めた目標に対する達成状況と東部医療センターにおける救急搬送応需率の向上に向けた取り組み　など

教育子ども委員会

【質問】**老朽化した子ども青少年局所管の施設整備についての考えは。**

【答弁】子ども・子育てに係る施策は、より一層充実が求められているという認識は持っているが、保育所や児童館をはじめとする公立施設の老朽化が進んでいる現状を踏まえ、29 年度の実施事業を振り返ると、子どものことを考えた施設整備は必ずしも十分ではなかったと反省しているところであり、公立施設の老朽化対策に計画的に取り組むために、まずは**個々の施設について課題を整理し、施設に応じたさまざまな整備手法を具体的に検討していく必要がある**と考えている。

＜その他の審査項目＞
- ○天白養護学校の事案を踏まえた特別支援学校における教員配置及び常勤講師の任用のあり方についての認識と外部的観点の導入に対する考え
- ○学校の光熱水費の固定経費化に対する教育委員会の認識　など

土木交通委員会

【質問】**墓地区画整備の進捗状況や区画の貸し付け数の推移を踏まえたみどりが丘公園における墓地公園整備事業のあり方の検討状況は。**

【答弁】**整備計画の進捗率は平成 29 年度末で 56.3%という状況の中で、近年貸し付け数がずいぶん下がってきている**ことから、市民の方々のお墓に対する考え方が変化していると感じており、社会情勢や市民ニーズに対応できるよう、平成 29 年度までに他都市の調査や有識者の方のご意見を伺うなどの取り組みを行ってきた。全体の事業に対しての見直しをもっと早くやればよかったという意識もあるが、**公的な墓地の役割を引き続き検討しつつ事業を継続していく必要がある**と認識している。

<その他の審査項目>

○市民が快適に利用する公園を維持するためのホームレス対策の取り組み状況
○市バスや地下鉄における発災時の対応に関する案内放送の実施状況
○地下鉄駅における暑さ対策の実施状況　など

経済水道委員会

【質問】**名古屋城の集客力向上の取り組みに対する評価は。**

【答弁】昨年度、民間事業者と連携した城内イベントの取り組みを新たに開始したところ、従前と比較して、季節催事の開催日数が増加したほか、城内初のイルミネーションイベントの実施など、新たなイベントを民間からの提案で実施することができ、名古屋城の賑わいをさらに高められたことから、**民間のノウハウを活用したイベントを引き続き企画していくことは非常に重要**と考えている。城内の多言語表記についても、近年、外国人来場者も増加傾向にあるため、現状に満足することなく、ニーズに対応して充実させていくことが必要と認識しているところである。

<その他の審査項目>

○自転車乗車用ヘルメットの着用率向上に向けた取り組み状況
○平成２９年度における空き家等対策の推進状況
○老朽化した配水管のうちいわゆるＦＣ管の更新及び耐震化が進まない理由　など

都市消防委員会

【質問】**中志段味特定土地区画整理事業に関し、市の検証結果を踏まえた事業費に対する見解及び本事業における責任の所在は。**

【答弁】現在の事業計画は可能な限り整備水準を下げた形で積算しているのに対し、平成 29 年度の検証結果は事業再建が必要となる事態が今後起こらないように、必要なリスクを全て最大限確保して積算したという違いはあるが、検証結果としての 800 億円という数字については重く受け止めており、平成 29 年度は、事業収支の改善を図るための再建計画素案について検討を行い、施行地区の見直しについても着手したところである。原因調査報告書にもあるように、**組合にも当然責任はあるものの、本市とまちづくり公社にも大きな責任がある**ことを踏まえて、中志段味地区のまちづくりをしっかりと進めることが必要だと認識している。

<その他の審査項目>

○帰宅支援アプリにおける情報の拡充内容及び多言語化の検討状況
○木造住宅の耐震改修助成の利用が進まないことに対する当局の認識及び啓発の取り組み状況
○消防団の充足率向上に向けた平成 29 年度の取り組み及び検討状況　など

本紙は速報版です。平成30年12月に発行予定の「市会だより」(９月定例会特集号)もぜひご覧下さい。
この定例会の概要(速報版)は、市ウェブサイト(市会情報)でもご覧いただけます。
市ウェブサイト(市会情報)〔アドレス http://www.city.nagoya.jp/shikai/〕からお入り下さい。